

ヤナギタンポポ	<i>Hieracium umbellatum</i> L.	絶滅危惧Ⅱ類
		キク科
選定理由	生育地と個体数がかなり減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎は高さ50-100cm、上部に星状毛と短毛が密生する。根出葉は開花時には枯れていて無い。茎葉は披針形、縁に粗い鋸歯が少数ある。頭花は多数が散房状につき、小花は舌状花のみで黄色。総苞は長さ約10mm、暗緑色。	
生態的特徴	冷温帯から亜寒帯の湿地に生育する。花期は8-9月。	
分布状況	北半球に広く分布し、日本では千島、北海道、本州、四国、九州に分布する。岐阜県では県北に見られる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘